

平成14年度第6回法務委員会議事抄録

日 時 平成14年 11月 20日 (水)

1300 ~ 1730

場 所 操縦士協会事務局会議室

1. 第5回法務委員会議事録の確認
2. JL706集会参加報告事項
長谷川委員長がJAPA法務委員長として集会に参加したので報告があった
3. 支部運営規程第3条の3改訂依頼
支部運営規程の一部改定の為の検討
何故この項目が出来たのか検証した上で削除する
協会員は支部会員に登録されている事を明確にする
4. 山口氏、法務対談企画
対談を池田先生、事故調関係者の3人で行えるよう計画する
対談テーマは継続して詳細を決定する
5. 中日本航空事故調査報告書と航空局通達についての議論
原因、所見等からより効果的な再発防止策を検討した
実質的な事故防止を考える上で、一元的な航空機の管制が必要と考える
同一空域を使用、通過する飛行機、回転翼機、滑空機のセパレーションの設定方法が必要
自家用操縦士等に対する安全講習会の必要性について
ペーパー、クラブ、オーナー各PILOTの安全意識等の標準化を図る方法は無いか
PICとしてFLTする際は何らかの技量管理を強制的に受けさせられないか
6. 保険に関する進捗状況
保険会社と加入者の間にJAPAが介入して斡旋するなどには困難
現在、諸般の事情で保険関係については検討を保留している
7. 池田先生訪問の報告
長谷川委員長が池田先生を訪問し、主にJL706便機長起訴について問題点を質問した
不可抗力による事故にまで過失認定を広げないよう活動を続ける
今後共、法務委員会の活動は世論の支持を得られる方向で行う
刑法211条(業務上過失)に第2項が新たに設けられた。このあたりを今後、航空事故裁判に与える影響も含め池田先生にパイロット誌に寄稿していただくようお願いした。
8. その他
次回法務委員会は12月10日(火)実施予定。

以上